

記入例

様式第2号(第2条関係)

家計調査書

住民票の異動の有無に関わらず現住所を記入すること。

ふりがな			本人住所			
氏名			家族住所			
生年月日	年 月 日 (歳)					
在学 校名	校名	出身 学校	校名	(全日制・定時制) 年度		
	学部名 学科名 学年		科名			
該当に○	高等専門学校・専攻科・大学		(卒業年度			
家族及び所得 別計 支持者○×印	続柄	氏名	年齢	職業	所得金額 (円)	備考
	1 本人	生計が同一の者全員(本人含む)を記入する。 (単身赴任、進学等による別居者も、生計が同一であれば記入)				
	2 父					
	3 母	生計が同一の者全員の令和5年中の所得金額を記入する。 (源泉徴収票などから所得金額を転記)				
	4 弟					
	5 妹					
	6	別生計の祖父母、父母、兄弟姉妹があれば、それぞれの人数を記入する。				
	7	また、金銭援助があれば、その額を記入すること。				
8						
生計を共にしない家族 (血族2親等以内)	祖父母・父 (人)	母・兄弟姉妹 (人)	理由	世帯への年間援助額 万円		
上記以外の臨時的な所得 その内訳	万円	公的年金・手当等 名称	遺族年金、児童扶養手当等が あれば記入する。			
奨学金を必要とする理由	別生計の祖父母、父母、兄弟姉妹などからの金銭援助のほかに、臨時的な所得があれば記入する。					
上記の家計状況に相違ありません。 令和 年 月 日	a. 奨学金志望動機 b. 学業に対する思い c. 奨学金給付を希望する学校を卒業後の進路 d. 将来の夢 を具体的に記載すること。				㊦ ㊦ ㊦	

家計支持者に○印を記入する。
単身赴任等で別居している方には×印を記入すること。
その他欄外の(注)に該当する場合は記入すること。

(注)

- 1 失業中の家族があるときは、その旨を備考欄に記入のこと。
- 2 受給中の奨学金があるときは、その旨を備考欄に記入のこと。
- 3 大学生は、学資の内授業料年額を備考欄へ記入のこと。